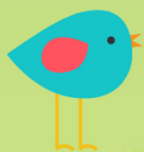


NEXT STEP工房

認定団体パンフレット



さまざまな活動を
ご紹介しています♪



2023年5月

制作：NEXT STEP工房運営チーム

団体名：自然史探偵団

団体の目的は？

自然史標本の保存・技術者育成に向けた活動と博物館施設の活性化を目的としています。

主な活動は？

動物の毛皮標本や骨格標本、仮剥製などを製作したり、博物館でワークショップを開催したりしています。

団体の基礎データ（2023/5現在）

顧問：人文社会科学部 竹原明秀 教授

メンバー数：農22名,教育2名,理工1名,大学院1名

団体メール：sizensitanteidan@gmail.com



団体名：同じ釜の匂いを食う2023

団体の目的は？

浜のお母さん「漁業協同組合の女性部の皆様」に教わる郷土料理教室に参加した学生が料理をマスターし、卒業後も継続して釜石の食材の魅力を普及することを目的としています。

主な活動は？

釜石市内の五つの漁協女性部の皆様から旬の食材に関する郷土料理を教わり、それをレシピ集と動画にまとめ釜石の海の食材の魅力を広く発信しています。

団体の基礎データ（2023/5現在）

顧問：農学部 平井俊朗 教授

メンバー数：農13名

団体メール

: onajikama2023@gmail.com



RECIPE BOOK

釜石の海の幸を用いた
浜のお母さんたちのレシピ集を編み、
岩手大学釜石キャンパスの学生が

浜のお母さんに教わった料理教室2022

P1-2 釜石湾漁協白浜浦女性部さんの料理教室
P3-5 釜石湾漁協平田女性部さんの料理教室
P6 参加した学生のインタビュー

岩手大学釜石キャンパス：同じ釜の匂いを食う
岩手大学研究支援・産学連携センター
NEXT STEP 工房

団体名：まちづくりサークルNPCN

団体の目的は？

当団体は、2011年に人文社会科学部人間文化課程の五味壮平教授のゼミで行われていた企画から始まったサークルです。主に盛岡を盛り上げる活動を行っています。

主な活動は？

盛岡さんさ踊りのPR活動を行っております。

団体の基礎データ（2023/5現在）

顧問：人文社会科学部 五味壮平 教授

メンバー数：人社21名, 理工14名, 農6名, 教育1名

団体メール：iu.npcn@gmail.com



団体名：岩手大学クラフトビール部

団体の目的は？

完全県産ビールの生産を通じた雇用問題や地域課題、農業問題の解決を目的としています。

主な活動は？

ビール麦の試験栽培、当団体の活動に係る調査分析、商品プロデュース、社会課題の周知活動などを行っております。

団体の基礎データ（2023/5現在）

顧問：人文社会科学部 杭田俊之 教授

メンバー数：農19名，人社6名，理工4名

団体メール：iwatebeer.u.@gmail.com



団体名：三陸委員会ここより

団体の目的は？

三陸地域に関心を持ち続け、関わり活動していくことを目的として今年度は活動していきます。

主な活動は？

1～2月に1回程度の三陸地域訪問、盛岡市にある災害公営住宅での活動、SNS発信での発信などを行っております。

団体の基礎データ（2023/5現在）

顧問：研究・地域連携部 濱田秀樹 部長

メンバー数：理工12名,農8名,人社8名,教育1名, 大学院1名

団体メール：iwate.u.gakuvo@gmail.com



団体名：E=Wind Project

団体の目的は？

上田キャンパスに風力発電機を設置することを目標に、エネルギー問題について学べる場の創出を目指します。

主な活動は？

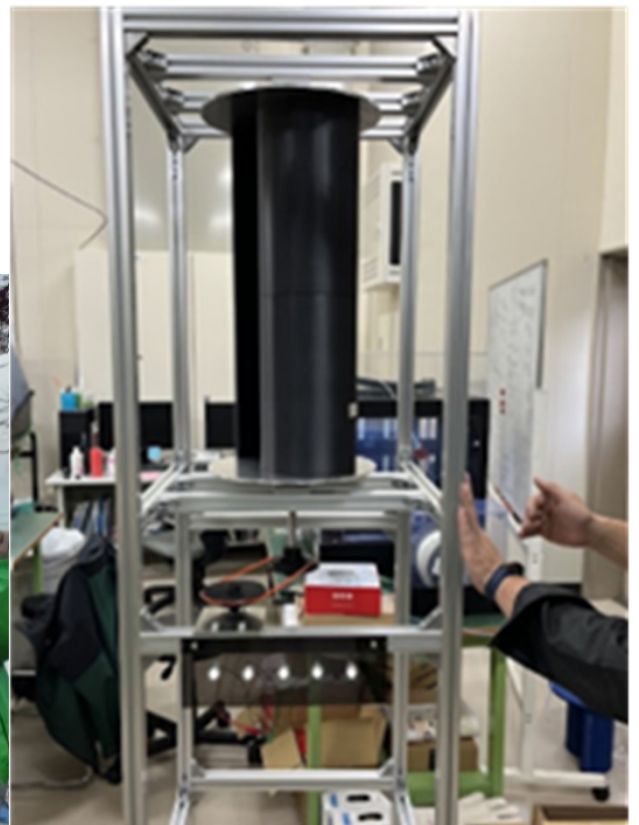
学生による風力発電機の製作、再生可能エネルギーやエネルギー問題に関するワークショップの開催などを行っております。

団体の基礎データ（2023/5現在）

顧問：理工学系第二技術室 技術専門職員 武田 洋一

メンバー数：理工4名，農3名，大学院2名

団体メール：emsc@iwate-u.ac.jp



団体名：らくのうの夢

団体の目的は？

岩手県の酪農形態の特徴として、一戸あたりの牛頭数が少ない、小規模農家が多いことが挙げられる。その魅力と商品化や交流会を通して、発信していくことを目的としています。

主な活動は

農家さんと、その周りの友達を主体とした交流会を主催しています。

団体の基礎データ（2023/5現在）

顧問：国際教育センター 准教授 Petersen Jacob

メンバー数：農9名，教育1名

団体メール：cheese.iwate@gmail.com



団体名：彩景プロダクション

団体の目的は？

岩手の農村景観を後世に伝えるため、地域資源が題材のPR制作により農村 × 観光 の相互関係を創り出すことを目的としています。

主な活動は？

農村集落で行われる催事を題材にした映像やグラフィックの制作、収穫された農作物を原料にした商品開発などを行い、それらの発信を通して対象地域の認知向上や関係人口を創出することを目指しています。

昨年に引き続き、一関市骨寺村荘園遺跡を主な活動拠点とするが、更なる対象地拡大も念頭に置いています。

団体の基礎データ（2023/5現在）

顧問：連合農学研究科 原科幸爾 教授

メンバー数：農6名，人社1名，理工1名

団体メール：saikei.base@gmail.com

